

文化・芸術



「麦踏み」

1980年、顔彩・紙
29・5センチ×12・6センチ

台伸八 (1919〜2009年)

〈名画の扉〉

大川美術館企画展から

明けましておめでと
うございます。本年も
どうぞよろしくお願
い申し上げます。大川美
術館では、18日から企
画展「桐生のアーティ
スト2020」が開催
されます。これに合わ
せ、常設展示でも大川
美術館所蔵品による桐
生ゆかりのアーティ
ストの特集展示を行っ
ております。その中から
一点をご紹介します。ま
す。

台伸八は足利市に生
まれ、戦時期に応召し
旧ビルマに従軍。帰国
後は桐生に住み、ダム
工事や縫製工場などで
働きながら絵を描き続

けました。1984
年、自由美術協会賞を
受賞。翌年、文化庁第
19回現代美術選抜。
本作では、早春の寒
い時期に麦の芽を足で
踏み農作業の工程「麦
踏み」の様子を、素早い
タッチでとらえていま
す。台は、国内外を旅行
しては多くのスケッチ
を描きました。大川美
術館へも何度も足を運
んでいたといえます。

今回の展示では、桐生
の街の何気ない風景や
桐生川にかかる橋な
ど、台の描いた懐かし
い桐生の風景に出会う
ことができます。

(池田)